

HO YOG

教区新報



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 兵庫教区広報部

2023.2 216号

ご消息発布 新しい「領解文」 (浄土真宗のみ教え)

新しい「領解文」

(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といた দিয়ে

この悪身をまかせ このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

これもひとえに

宗祖親鸞聖人と

法灯を伝承された 歴代宗まの

尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

ご門主は一月十六日、御正忌報恩講ご満座に続いて、御影堂で新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)についての消息を発布された。

ご消息では、「この新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を僧俗を問わず多くの方々に、さまざまな機会でご誦読、唱和いただき、み教えの肝要が広く、また次の世代に確実に伝わることを切に願っております」とお示しいただいた。

また、同発布式において石上智康総長は、ご消息を拝し、「今後は、現代を生きる私たちが念仏者として領解すべき肝要を、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)として共に誦読、唱和し、日々に精一杯つとめてまいります」と決意を表明された。

今後、教区においても、法要儀式をはじめ、各種研修会等の機会に、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を誦読、唱和いただけるよう周知と普及に務めていきます。



最近、「何がしあわせかわからない」という言葉を複数の映画で聞きました。アンパンマンの歌では「何が君のしあわせ」と歌っていますが、この歌詞に答える言葉をなくした人が増えたのかもしれない◆六連島のおかる同行の歌に、「聞いてみんせ、まことの道を、無理なおしえじやないわいな。まこと聞くのがお前はいやか、なにがのぞみであるぞいな」というものがあります。軽妙なりズムですが、後半の「なにがのぞみであるぞいな」という言葉に、鋭い刃を突き付けられるような思いがします。この刃は、かつての彼女自身に向けられたものでもあったのでしょうか◆おかる同行は夫の不義にずいぶん苦しんだと聞きます。その苦しみの中にいた時、彼女はどのようなしあわせを願ったのでしょうか。ただ、この歌を詠う彼女は、自身のまことのしあわせを願う阿弥陀様に出遇われているように思います。

阪神東組吉祥寺西村一樹

いよいよ慶讃法要が始まります
兵庫教区からは五千人超が参拝！



浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺(西本願寺)

親鸞聖人御誕生850年
立教開宗800年

慶讃法要

「どんなに孤独で苦しんで悲しくても
あなたをそのまま受け止め
決して見放さない」
阿彌陀さまからの救いのメッセージ

ご縁を慶び、お念仏とともに
西本願寺
(075)371-5181

本年三月二十九日より
「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が本願寺でご修行される。兵庫教区参拝団は、およそ五千二百人が予定されている。

本願寺では、安心してご参拝いただけるよう「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定。参拝団へ「団体参拝引率者の手引き」と

ともに冊子で届けられる。また宗派公式Webサイトにも同ガイドラインが掲載されている。

◆法要期日
【第一期】三月二十九日
【第二期】四月三日
【第三期】四月十日
【第四期】四月十四日
【第五期】四月十八日
【第六期】四月二十五日
【第七期】五月二日
【第八期】五月九日
【第九期】五月十六日
【第十期】五月二十三日
【合計】五期三日間

阪神・淡路大震災二十八年 「いのち」考え経験次世代に 追悼法要と研修会

本願寺神戸別院と「御同朋の社会をめざす運動」兵庫教区委員会による阪神・淡路大震災物故者総追悼法要と、「いのち」を考える研修会が一月十七日、本願寺神戸別院で行われた。

コロナ禍で三年ぶりに講師をお招きして開催され、約七十名が参拝した。松本隆英輪番導師のもと追悼法要を営んだ後、宗門関係学校の学生の「いのち」をテーマとした作文朗読、「いのち」を考え

る研修会と続き、最後にアトラクションとして和太鼓の演奏が行われた。作文朗読では、山本嘉希さん(成徳学園 神戸龍谷高等学校)、辻実桜さん(睦学園 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校)、吉谷ねねさん(成徳学園 神戸龍谷高等学校)、川田結月さん(睦学園 兵庫大学)の四名が、被災された方の体験談で感じたことや防災学習で学んだことを発表した。

研修会では、東日本大震災の被災者で宮城県気仙沼市の「すがとよ酒店」を営む菅原文子さん(「生かされたいのちを生きる」と題して、震災の被害や復興への思い、浄土真宗との出会いなどを話した。

菅原さんは、東日本大震災の津波で店舗兼住宅が全壊、義父母を喪い、夫は行方不明と悲嘆にくれる中、被災から一カ

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年によせて

2023(令和5)年にご法要をお迎えするにあたり、四夷法顕さんに連載いただいています。親鸞聖人御誕生の意義、立教開宗が示す意味を、と一緒に味わわせていただきます。

03 「浄土真宗」という教え(一)

一般に「浄土真宗」といって、天台宗や曹洞宗などのように教団の名称として認識されています。それも誤りではありませんが、現在のようないくつかの教団名として使われるようになったのは親鸞聖人よりずっと後の時代になってからです。立教開宗の意図がなかった聖人にとって「浄土真宗」とは「親鸞聖人御消息」に、

選択本願は浄土真宗なり
(註釈版「三七七頁」)

といわれているように、阿彌陀如来の「選択本願」という教えの名称を意味していました。親鸞聖人の師である法然聖人は主著「選択本願念仏集」に、「阿彌陀如来がその昔、法蔵菩薩であった時、平等の慈悲に催され、あらゆる人々を救うために四十八の願の中の、第十八願に一切の行を選び捨て、称名念仏ひとつを選び取って往生の行とされたといわれています。法然聖人はその第十八願こそが、四十八願の「根本の願」という意味でこれを「本願」とし、称名念仏ひとつをあらゆる行から選び取られたことから、「選択本願」と名づけられました。そして法然聖人は、阿彌陀如来の本願念仏による万人の救済を説く往生浄土の教えがあることを明らかにし、その法門を「浄土宗」と名づけて独立していったのでした。先にあげた「選択本願は浄土真宗なり」という親鸞聖人のお言葉は、その意を承けたものであることがわかります。

ところが、当時の仏教界では浄土の教えは法相宗や天台宗、あるいは真言宗などのいわゆる聖道諸宗の寓宗と位置づけられ、一宗としては認められていませんでした。「寓」とは「つく・やどる・かりのすまい」という意味で、浄土の法門は他の教えに「かりのすまい」をなすことよって存在価値が認められる、付属的な位置づけに過ぎませんでした。そうした中で、法然聖人はお念仏ひとつによる万人の救済を説き、浄土宗の独立をされたわけですから、聖道諸宗から極めて厳しい批判が向けられることになったのです。親鸞聖人はご自身の後半生を「教行信証」の執筆に捧げて、「浄土真宗」という教えの内容を詳しく体系化していかれます。それは法然聖人から面授された浄土の法門こそが、弥陀・釈迦・諸仏の本意にかなった真実の教えであることを、当時の仏教界に対して明らかにしていくということに他なりません。そのようなことから、親鸞聖人は「浄土真宗」という名称を、法然聖人が願そうとされていた「浄土真実の宗義」という意味で使われていたと考えられます。

それでは「教行信証」で明らかにされる「浄土真宗」とは、具体的にどのような教義体系をもつ教えなのでしょう。次回はその点について、親鸞聖人のお言葉からうかがってみたいと思います。

龍谷大学 相愛大学 非常勤講師
阪神四組 信行寺住職
四夷法顕

月半後に仮設店舗で家業の酒店の営業を再開。「負けねえぞ気仙沼」と自身の筆でしたためたラベルの地酒が、復興のシンボルとして全国で話題となった。

支援者の勧めで京都の和紙問屋の企画「大切な人に手紙を書こう」に、行方不明の夫に宛てた手紙を投稿し、恋文大賞を受賞。「あなたへの恋文」が出版された。そして、震災から一年三カ月後、行方不明だった夫の遺体が発見された。

講演では被災時の生々しい被害の様子や、店の再開のため必死で取り組んできたこと、阪神・淡路大震災を経験された阪神地域の方への支援のお礼が述べられた後「あなたへの恋文」を読まれると、参加者は目頭をおさえていた。

菅原さんは、震災支援を通して本願寺派の僧侶と出会ったことから、中央仏教学院の通信教育課程を受講。卒業後は、本願寺派寺院などで、震災の経験とみ教えの味



迫力の演奏

わいを講演されている。講演後は、震災で被災された方々への激励と、神戸の復興エネルギーを全国に発信する事を目的に発足した和太鼓プロ集団「和太鼓松村組」が演奏。

和太鼓の響きと、民族楽器との融合を図った海外でも高い評価を受ける独自の音楽スタイルで、地響き、空気感を間近で感じる迫力の演奏が行われた。

最後は、菅原さんの書籍や地酒「負けねえぞ気仙沼」の販売も行われ、笑顔で話す姿や、和太鼓の力強い演奏に立ち上がり拍手を送る姿から、集まる喜びを改めて感じる一日となった。

兵庫教区・本願寺神戸別院
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年
慶讃法要 期日決まる
令和6(2024)年 5月16日~5月19日 4日間

兵庫教区・本願寺神戸別院では、教区会議員・組長・別院責任役員・別院門徒総代・教区教化組織代表者・別院教化組織役職者の合計七十八名が慶讃法要推進委員となり、教区・別院の慶讃法要ならびに協賛行事の開催時期・内容について検討を重ねている。

コロナ禍の状況や委員のアンケート結果、教区オンライン公聴会で聴取した意見を参考に、教区・別院の法要は、令和五年三月二十九日から厳修される本願寺での慶讃法要が勤まった後に開催することと一致。

法要会場は本願寺神戸別院とし、事情により別院への参拝が困難な方のためにオンライン配信も考慮した法要の開催時期を「令和六(二〇二四)年五月十六日~十九日」の四日間と決定した。

また、お待ち受け行事の開催を令和五年後半に予定することとなった。詳細は、教区ホームページなどで告知予定。